

# 学都屋台食談

第7回

NTT西日本  
北陸事業本部長

小川 成子氏  
おがわ なりこ

金沢で過ごす学生生活の意義や仕事観・人生観を、講師と学生が語り合う「学都屋台食談」を11月6日から11月19日にかけて、金沢市の片町中央味食街で開催しました。2006年から今年で13年目を迎えた食談で、講師が語ったメッセージを紹介します。

NTT西日本 

## 女性社員の勤続年数 長く働くための判断基準に

私が大学生だった頃はいったん就職しても寿退社する女性がたくさんいた時代です。ただ、私はなるべく長く仕事をしたいと考えていましたから、就職活動の際も女性が働きやすい会社かどうかを判断基準のひとつにしました。さまざまな会社のデータを調べてみると、NTTは女性社員の勤続年数が男性とほとんど変わらず、この会社ならばと思ったのです。身に着けるアクセサリが携帯電話になるとうたっていた将来ビジョンにも興味を引かれました。

会社の雰囲気良かったことも決め手になりました。会社訪問時に対応してくれた先輩が元気で生き生きとしていて、ここで働けば自分もそんなふうになれると感じたのです。当時と違って、今はインターンシップを実施している企業がたくさんありますから、積極的に参加して就職先を見極めるといいでしょう。

また、就職するにあたっては、少なくとも40歳までは絶対に会社を辞めないと決めていました。仕事で結果を出せるかどうかを判断するにはそれくらいかかると思ったからです。働き始めてすぐに戦力になれるわけではありません。皆さんにも自分のキャリアは長いスパンで考えてほしいと思います。

## 成長を後押ししてくれる 先輩、上司を大切に

入社から3年間は北陸で勤務し、4年目からは本社の技術系の部署に女性として初めて配属されました。まだ女性が戦力としてあまり期待されていない時代でしたが、その部署の部長は厳しくも温かく、私を鍛えてくれました。そんなふうに関心を持って育ててくれる人は成長を後押ししてくれる貴重な存在です。働き始めたから早くそういう人を見つけて大切にしてください。

女性の場合ではできれば女性の先輩、上司の中から心の支えになってくれるメンターを探してほしいと思います。というのも、日本は女性管理職の割合が低く、まだまだ男性社



参加  
学生

前列左から、吉田美月祈さん(金沢大学3年)、多保田莉歩さん(金城大学4年)、後列左から、八尾悠生さん(金沢工業大学3年)、鈴木隆夫さん(金沢医科大学4年)、島谷彩花さん(金沢学院大学4年)

企画/㈱アドマック 編集/㈱都市環境マネジメント研究所

# 大学時代は幅広く興味、交流を

## 全国に自慢できる街 金沢についても勉強を

学生時代は気の合う友達との付き合いが多いのですが、あえて自分とは違うタイプの人がいる集まりなどに参加し、交流の幅を広げることをおすすめします。働くようになるときさまざまな人と接することになります。良好な人間関係を築くにはコミュニケーションが重要で、その際、自分の中にいるんな引き出しがあると役に立つのです。

せっかく金沢で学んでいるのですから、金沢の歴史や文化についてもしっかりと勉強してほしいと思います。金沢は全国に自慢できる街です。県外に就職した場合はもちろん、県内で働く際も出張で訪れる取引先の方などに歴史や文化を紹介できれば、スムーズにコミュニケーションを取るきっかけになります。



講師

NTT西日本  
北陸事業本部長

小川 成子氏

おがわ・なりこ

1968年富山県高岡市出身。91年に東北大学農学部を卒業後、日本電信電話(NTT)に入社。西日本電信電話(NTT西日本)東海事業本部設備部長、設備本部相互接続推進部長を経て、2018年から現職。金沢支店長を兼務している。